



2020年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス
コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

定時株主総会開催予定日 2020年5月28日

配当支払開始予定日

2020年5月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年5月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の連結業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	8,311		261		277		70	
2019年2月期								

(注) 包括利益 2020年2月期 67百万円 (%) 2019年2月期 百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年2月期	76.68		3.8	6.3	3.1
2019年2月期					

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 百万円 2019年2月期 百万円

(注) 1. 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年2月期の数値及び対前期増減率については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年2月期	4,384	1,857	42.4	2,020.71
2019年2月期				

(参考) 自己資本 2020年2月期 1,857百万円 2019年2月期 百万円

(注) 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年2月期の数値については記載していません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	520	168	397	596
2019年2月期				

(注) 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年2月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年2月期		0.00		90.00	90.00	82	66.0	4.3
2020年2月期		0.00		90.00	90.00	82	117.3	4.4
2021年2月期(予想)								

(注) 1. 2020年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2019年2月期の配当性向及び純資産配当率については単体ベースの数値にて記載しております。

2. 2021年2月期の配当予想額につきましては、業績予想の開示を行っていないことから、現時点で未定とさせていただきます。配当については、業績予想の見通しを開示した際にお知らせいたします。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

現時点で新型コロナウイルス等外部変動要因による業績への影響を合理的に算定することが困難なため、業績予想の開示は行っておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

MOTTAINAI WORLD CO.,
新規 2 社 (社名) LTD、株式会社エージーワイ、 除外 社 (社名)
イ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期	953,600 株	2019年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2020年2月期	34,310 株	2019年2月期	34,222 株
期中平均株式数	2020年2月期	919,330 株	2019年2月期	938,844 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年2月期の個別業績(2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	8,193	2.8	326	11.5	278	32.0	60	52.3
2019年2月期	8,425	4.4	369	2.5	410	14.1	127	1.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期	66.35	
2019年2月期	136.28	

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	4,154	1,871	45.0	2,035.79
2019年2月期	4,391	1,896	43.2	2,062.54

(参考) 自己資本 2020年2月期 1,871百万円 2019年2月期 1,896百万円

2. 2021年2月期の個別業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

現時点で新型コロナウイルス等外部変動要因による業績への影響を合理的に算定することが困難なため、業績予想の開示は行っておりません。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度より、2015年12月に設立したMOTTAINAI WORLD CO., LTD.の重要性が増したことおよび2020年2月に株式会社エージーワイの株式を取得したため、同2社を連結の範囲に含めております。このため、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。よって、前期との比較分析は行っておりません。なお、株式会社エージーワイについては、みなし取得日を当連結会計年度末としているため、当連結会計年度は貸借対照表のみ連結しております。

当連結会計年度における国内経済は、当初堅調に推移いたしましたが無末からは新型コロナウイルスによる実体経済への世界的な影響が出ており、今後も先行き不透明な状況が続くと予想されています。

こうした状況のもとで、当社におきましては、ライフスタイルの変化に対応すべく、業態戦略の再構築、組織の見直しと人材育成に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、3月にモスバーガー東予店（愛媛県）を閉店したほか、6月にMOTTAINAI WORLD CO., LTD.にてMOTTAINAI WORLD ECO TOWN Chbar Ampov店（カンボジア王国プノンペン市）を出店、11月にハム・ソーセージの製造・販売を行うハム工房京都（京都府）の運営を開始し、1月にトマト&オニオン別宮店（愛媛県）、トマト&オニオン西条店（愛媛県）、大戸屋丸亀町グリーン店（香川県）、2月に大戸屋高松店（香川県）をそれぞれ閉店し、また、ペルタ・レクラン（愛媛県）を業態変更のため閉店しました。

この結果、2020年2月末現在の店舗数は、リユース事業90店舗、フードサービス事業32店舗、その他3店舗、合計125店舗となりました。

また、当連結会計年度において、上記の株式会社エージーワイの他に、当社グループの今後の事業展開に備えるために、ハム・ソーセージ、チーズ、チョコレート類を専門とする地域に根ざした小規模な会社3社に出資しております。これら4社への出資の結果、当連結会計年度において、販売費及び一般管理費にのれん償却費77,832千円、営業外費用に係る会社事業損失引当金繰入額14,690千円、特別損失に係る会社株式評価損18,300千円を計上しております。

当連結会計年度の業績は、売上高8,311,438千円、営業利益261,672千円、経常利益277,416千円、リユース事業、フードサービス事業などの閉店費用、減損損失等、特別損失を119,596千円計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益70,497千円となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

当連結会計年度は、リペア等の商品に付加価値をつけるための取組みやスタッフ間の専門知識の共有の取組み、ハードオフ本部のECプラットフォーム「ネットモール」を活用したネット販売の強化を行いながら、お客様目線での売場づくりを進めることで、売上高の増加に努めてまいりました。また、MOTTAINAI WORLD CO., LTD.におけるカンボジア王国での新規出店についても継続して行ってまいりました。

この結果、売上高5,914,133千円、セグメント利益（営業利益）665,186千円となりました。

(フードサービス事業)

当連結会計年度におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動の理解と徹底、オリジナルブランド事業においては食の安心・安全とおいしさへの取り組みを深めながら新商品の投入や既存商品の改良等を行ってまいりました。また、一部店舗で定休日の導入、営業時間の見直しを行い、人手不足解消および従業員満足度の向上にも取り組んでまいりました。

この結果、大戸屋2店舗、トマト&オニオン2店舗の閉店の影響もあり、売上高2,295,601千円、セグメント利益（営業利益）45,215千円となりました。

(その他)

当連結会計年度におきましては、ハム工房京都の運営の開始にくわえ、温浴施設等の運営における当社独自のノウハウを構築するとともにお客様により喜んでもらえるようサービスの向上を図ってまいりましたが、鈍川せせらぎ交流館を建屋・設備改修等により9月から1月中旬までの間休館したことで、売上高101,704千円、セグメント損失（営業損失）7,034千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産は、1,897,673千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が596,885千円、売掛金が113,342千円、商品が1,000,737千円であります。

固定資産は、2,487,102千円となりました。主な内訳は、建物及び構築物が851,738千円、無形固定資産が19,884千円、差入保証金が562,644千円であります。

この結果、総資産は、4,384,776千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、1,004,322千円となりました。主な内訳は、買掛金が116,734千円、1年内返済予定の長期借入金が377,476千円であります。

固定負債は、1,522,832千円となりました。主な内訳は、長期借入金が841,410千円、資産除去債務が444,035千円であります。

この結果、負債は、2,527,155千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、1,857,621千円となりました。主な内訳は、資本金が547,507千円、利益剰余金が1,314,208千円であります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、596,885千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益、非資金項目である減価償却費の計上、法人税等の支払等により、520,554千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、関係会社株式の取得による支出等により、168,193千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出、配当金の支払額等により、397,360千円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスによる実体経済への影響は、今後も続くと予想されております。当社としましては、あらゆるリスクを想定しながらそれに対応すべく、財務的余裕を持つための資金調達を行う予定です。

翌連結会計年度の業績予想につきましては、現時点で前述の新型コロナウイルス等外部変動要因による業績への影響を合理的に算定することが困難なため、業績予想の開示は行っておりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2020年2月29日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	596,885
売掛金	113,342
商品	1,000,737
その他	188,190
貸倒引当金	△1,482
流動資産合計	1,897,673
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	851,738
機械装置及び運搬具	11,197
工具、器具及び備品	49,503
土地	178,268
リース資産	70,023
建設仮勘定	14,438
有形固定資産合計	1,175,169
無形固定資産	19,884
投資その他の資産	
投資有価証券	54,175
長期貸付金	88,529
投資不動産	345,710
差入保証金	562,644
繰延税金資産	116,489
その他	130,289
貸倒引当金	△5,791
投資その他の資産合計	1,292,049
固定資産合計	2,487,102
資産合計	4,384,776
負債の部	
流動負債	
買掛金	116,734
1年内返済予定の長期借入金	377,476
リース債務	62,783
未払金	125,502
未払費用	109,328
未払法人税等	64,252
未払消費税等	102,942
その他	45,302
流動負債合計	1,004,322
固定負債	
長期借入金	841,410
リース債務	67,973
退職給付引当金	10,646
関係会社事業損失引当金	14,690
役員退職慰労引当金	93,833
資産除去債務	444,035
その他	50,245
固定負債合計	1,522,832
負債合計	2,527,155

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金		547,507
資本剰余金		63,507
利益剰余金		1,314,208
自己株式		△79,471
株主資本合計		1,845,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		15,212
為替換算調整勘定		△3,343
その他の包括利益累計額合計		11,868
純資産合計		1,857,621
負債純資産合計		4,384,776

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高	8,311,438
売上原価	2,891,821
売上総利益	5,419,617
販売費及び一般管理費	5,157,944
営業利益	261,672
営業外収益	
不動産賃貸料	71,175
その他	31,447
営業外収益合計	102,623
営業外費用	
支払利息	7,876
不動産賃貸原価	62,169
関係会社事業損失引当金繰入額	14,690
その他	2,143
営業外費用合計	86,879
経常利益	277,416
特別利益	
受取保険金	15,111
特別利益合計	15,111
特別損失	
固定資産除却損	6,929
固定資産売却損	36
減損損失	92,569
店舗閉鎖損失	1,760
関係会社株式評価損	18,300
特別損失合計	119,596
税金等調整前当期純利益	172,931
法人税、住民税及び事業税	111,423
法人税等調整額	△8,989
法人税等合計	102,433
当期純利益	70,497
非支配株主に帰属する当期純利益	-
親会社株主に帰属する当期純利益	70,497

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
当期純利益	70,497
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△2,824
為替換算調整勘定	△553
その他の包括利益合計	△3,377
包括利益	67,120
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	67,120
非支配株主に係る包括利益	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	547,507	63,507	1,326,455	△79,268	1,858,201
当期変動額					
剰余金の配当			△82,744		△82,744
親会社株主に帰属する 当期純利益			70,497		70,497
自己株式の取得				△202	△202
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	-	△12,246	△202	△12,449
当期末残高	547,507	63,507	1,314,208	△79,471	1,845,752

	その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	18,036	△2,790	15,245	-	1,873,447
当期変動額					
剰余金の配当			-	-	△82,744
親会社株主に帰属する 当期純利益			-	-	70,497
自己株式の取得			-	-	△202
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,824	△553	△3,377	-	△3,377
当期変動額合計	△2,824	△553	△3,377	-	△15,826
当期末残高	15,212	△3,343	11,868	-	1,857,621

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	172,931
減価償却費	211,104
のれん償却額	77,832
長期前払費用償却額	11,289
減損損失	92,569
店舗閉鎖損失	1,760
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,947
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,625
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	14,690
受取利息及び受取配当金	△1,799
受取保険金	△15,111
支払利息	7,876
関係会社株式評価損	18,300
有形固定資産売却損益(△は益)	36
有形固定資産除却損	6,929
売上債権の増減額(△は増加)	△9,498
たな卸資産の増減額(△は増加)	△974
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,429
その他	45,662
小計	640,753
利息及び配当金の受取額	1,798
利息の支払額	△7,503
災害による保険収入	44,856
店舗閉鎖損失の支払額	△1,260
法人税等の支払額	△158,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	520,554
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,200
定期預金の払戻による収入	10,802
有形固定資産の取得による支出	△111,403
投資有価証券の取得による支出	△963
資産除去債務の履行による支出	△8,713
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	945
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△54,186
長期前払費用の取得による支出	△5,947
差入保証金の差入による支出	△8,584
差入保証金の回収による収入	13,894
その他	△2,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,193

(単位:千円)

当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△393,888
リース債務の返済による支出	△70,471
自己株式の取得による支出	△202
配当金の支払額	△82,798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	△262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△45,263
現金及び現金同等物の期首残高	642,148
現金及び現金同等物の期末残高	596,885

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業活動は、取扱商品と運営形態を基礎とした事業セグメントから構成されており、フランチャイズシステムにより事業展開している「リユース事業」、フランチャイズシステムおよび当社独自の開発により事業展開している「フードサービス事業」、地方自治体から指定管理者としての指定を受けての事業運営および当社独自の事業運営を行う「その他」の3つがあります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,914,133	2,295,601	101,704	8,311,438	—	8,311,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,914,133	2,295,601	101,704	8,311,438	—	8,311,438
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	665,186	45,215	△7,034	703,368	△441,695	261,672
セグメント資産	2,397,003	608,368	43,022	3,048,393	1,336,382	4,384,776

(注) 1 ① セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、のれんの償却額77,832千円および報告セグメントに帰属しない一般管理費363,863千円であります。

② セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

（単位：千円）

	リユース事業	フードサービス事業	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
減損損失	61,482	29,140	1,534	412	92,569

（注） 「全社・消去」の金額は、各報告セグメントに属さない全社資産に係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

（単位：千円）

	リユース事業	フードサービス事業	その他	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	77,832	—	—	77,832
当期末残高	—	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	2,020円71銭
1株当たり当期純利益金額	76円68銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2020年2月29日)
純資産の部の合計額(千円)	1,857,621
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,857,621
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	919,290

3 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	70,497
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	70,497
普通株式の期中平均株式数(株)	919,330

(重要な後発事象)

該当事項はありません。